



水槽付消防ポンプ自動車

宮区にあるパナソニックシステムネットワークス株式会社、システムソリューションズジャパンカンパニー関越社である。

質疑 入札における失格基準価格は、本市独自で決定することが可能なのか。

答 本市では、工事の品質の低下及び下請業者へのしわ寄せ等が懸念されるため、採算を度外視した価格での応札を排除することを目的に失格基準価格を設定しており、独自で決定している。

質疑 このデジタル化工事は3カ年にわたるが、防災行政無線の運用については支障がないのか。

答 工事期間は、従来のアナログ局とデジタル局の併用期間となるが、運用に支障が生じることはない。

○水槽付消防ポンプ自動車の取得について（原案可決）

現在、南分署において使用している水槽付消防ポンプ自動車は、平成10年に配備され、第一線で消火活動等の任務に

当たっていたが、その後約15年が経過し、消防本部における車両更新計画及びNOx・PM法による運行規制のため入れかえを行うものである。

なお、取得金額は消費税を含めて4287万1500円、契約の相手方は東京都千代田区にある長野ポンプ株式会社東京営業所である。

質疑 一番高い入札額と一番低い入札額の差がわずか52万円であることについて。

答 各社ともそれぞれの経営判断に基づいて額を決定し、入札に参加しているものと認識している。市として、こうした経営判断に関与する余地はなく、あくまで入札の結果である。

補正予算
補正総額
5億7006万円余り

○平成25年度行田市一般会計補正予算（原案可決）

当初予算に計上されている

各種施策を効率的に推進するための所要経費を補正措置するとともに、地域の元氣臨時交付金の交付限度額が提示されたため、財源振替等を行うものである。

歳入歳出予算の総額にそれぞれ5億7006万7000円を追加し、予算総額を252億7303万5000円とするものである。

歳出の主な内容として、総務費では長野中学校及び進修館高校の生徒通学時の安全対策として道路にガードパイプなどの安全施設の設置費。電気自動車等の普及促進を図るため、急速充電設備の設置費。

民生費では保育士等の処遇改善を図るための補助。農業費では農道及び用排水路の補修や新設に伴う費用。

土木費では道路や河川等の維持補修及び新設改良に伴う追加措置。教育費では石田堤における史跡公園の整備費、全国高等学校女子硬式野球選抜大会の運営経費の補助。

その他、電気料値上げに伴う追加措置など、所要の経費を計上するものである。

なお、債務負担行為の設定については、斎場式場棟改築事業を今年度中に契約手続きを進めることにより、新年度当初から業務を円滑に実施するものである。

また、最終日に追加議案として、9月16日に発生した竜巻による被害への対応に関する補正予算約464万円を新たに追加措置したものである。

質疑 市民相談費のDVD作成委託料に関し、市独自で作成するのか。また、本来の目的を達成するための普及活動及びPR啓発活動について。

答 DVDは消費者教育の一環として各小・中学校や高齢者クラブで学習する機会に活用できるように、本市が独自に作成し、無償配布する。

内容としては、最新の注意喚起が必要な本市に多い事例を取り上げる予定である。

なお、DVDには行田市消費生活センターへの相談方法を初め、消費生活センターの場所、相談時間の周知並びに悪質業者等の情報提供もあわせて盛り込んでいくことで、被害の減少につなげていく。

質疑 文化財保護費の土地購

入費に関し、どのような公園整備を考えているのか。

答 堤根地内の石田堤に隣接する6筆、2678㎡の買収を予定しており、今年度後半に地元の関係者、学識経験者等からなる整備検討委員会を立ち上げ、この整備内容を検討し、来年度以降に整備を行う予定である。

なお、現時点では買取予定地内に石田堤が埋没して伸びている可能性が高いことから、その堤の部分の復元整備、駐車場、ベンチ、説明板等の設置を考えている。

決算 7会計の決算を 可決及び認定

平成24年度行田市一般会計歳入歳出決算認定については、決算審査特別委員会による閉会中の継続審査としました。

また、水道事業会計並びに6特別会計（国民健康保険事業、下水道事業、交通災害共済事業、介護保険事業、南河原地区簡易水道事業、後期高齢者医療事業）の歳入歳出決算は、所管の常任委員会審査を行い、原案可決及び決算認定しました。